

## 広島県中小企業団体中央会 2020年6月分情報連絡一覧表

※本調査は7月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する7月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

### ●食料品

#### 広島県東部菓子商工業協同組合

製造小売店が先月に比べると持ち直してきた。量販店向けは例年並みに戻ってきた。好況と呼ぶにはまだ勢いが足りない。

新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのか、また、第2波の影響も気になる。

#### 中国醤油醸造協同組合

6月の出荷量は前月比21.5%増加、前年同月比17.9%減少となり、売上高も前月比25.0%増加、前年同月比16.2%減少となった。

(木材・木製品)

### ●木材・木製品

#### 福山木材協同組合

今月は、先月より景況感は好転してきたが、先行き不透明感は続いている。

#### ひろしま木材事業協同組合

原木価格の低下もあり、市場における杉桧の原木出材は低調。このような状況の中、桧の土台取りや柱取りサイズについては、一部価格での反発が見られるようになった。

新型コロナウイルスによる木材業界への本格的な影響は2~3ヶ月遅れて出てくることから、9月頃までは継続すると見られ、雇用調整助成金を利用して従業員を休業させて減産を進めていくことを一部国産材製材工場では計画している。

第2波の発生如何によっては長引く見通しもあり、不透明感が漂っている。さらに、大雨の影響により国産材の産地である九州地方が打撃を受けており、原木供給は全体的にタイトとなる可能性が高い。今後は、県内の原木価格にも影響が出てくる可能性がある。

#### 広島県木材協同組合連合会

##### <全国>

- ・令和2年5月の全国の住宅着工戸数は63,682戸で前年同月比12.3%減少
- ・季節調整済年率換算値では807千戸(前月比1.3%増加)
- ・利用関係別では、持家は19,696戸で前年同月比20.7%減少、貸家は24,040戸で前年同月比8.1%減少
- ・分譲住宅は19,602戸で前年同月比7.6%減少
- ・木造住宅着工は35,632戸で前年同月比15.6%減少
- ・住宅着工動向は前年同月比11ヶ月連続で減少し、持家は5月としては1960年以来60年ぶりの2万戸割れで今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

##### <広島>

広島県内の5月の着工戸数は1,329戸で前年比5.0%増加、内訳としては、持家は343戸で前年比24.1%減少、貸家は536戸で前年比37.1%増加、分譲は450戸で前年比8.7%増加と県全体の住宅着工動向は4月の大幅減(前月比44.2%減少)から再び増加となった。

コロナ禍での外出自粛が解除され、訪問営業が再開され従来の日常生活を取り戻しつつあるものの、新築営業の空白期間の影響が7月以降に深刻化することが予想され、プレカット工場にも加工の順延や受注減少、需要後退の声が聞こえるなど先行きの需要見通しに不安感が強まっており、輸出関連の物流梱包の需要停滞も続くなど様々な不安要素を訴える声も多く、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(印刷)

### ●出版・印刷・同関連

#### 広島県印刷工業組合

アフターコロナ時代にあう新しい何かを手探りで創りながら前へ進んでいくのみである。いまだ厳しい状況は変わらないが、社員のモチベーションが下がらないよう気を配っている。新型コロナウイルスとの戦いは長期戦になることを覚悟し知恵を皆で出し合っていきたい。

(化学・ゴム)

### ●工業用ゴム製品

#### 中国ゴム工業協同組合

全国で緊急事態宣言が解除され、人の移動も増加し始めたが、仕事量は5月とほとんど変化なくコロナ前の5割ほどの操業度となっている。7月には7、8割まで戻ることを見込んでいるが、その後も8割程度の操業で継続することが予想される。

原油価格も乱高下しており、原材料価格も不透明、為替も不安定であり、厳しい状態である。

## ●プラスチック製品製造業

### 広島県プラスチック工業会

新型コロナウイルスの影響で業界全体が売上、設備操業度ともに大幅に悪化している。自動車関連は、7月からは回復の兆しがある。各社、資金繰りへの影響が懸念される。先行き見通しが立たないことが問題である。

(窯業・土石製品)

## ●窯業・土石製品

### 広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

R2年 6月 2,923m<sup>3</sup> (前年比3.88%減少)

R2年 5月 2,882m<sup>3</sup>

R1年 6月 3,041m<sup>3</sup>

(鉄鋼・金属製品)

## ●鉄鋼業

### 靱鉄鋼協同組合連合会

雇用調整助成金の利用や相談が増えてきている。

当連合会は、東は海、西は山に囲まれているため、大雨が降ると土砂が流出する場所がある。このたびの大雨でも土砂が県道を横断し、団地内の市道にまで流れていた。県、市へ対応を依頼した。2年前の大規模土砂災害も経験しているため、対策をとり続けてほしい。

(一般機器)

## ●一般機械器具

### 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、新型コロナウイルスの長期化に伴う国内外の景気減速の影響により、前年に比べ設備操業度、収益状況は前年比、前月比とも悪化しており、前月比33%減少、前年同月比は55%減少となった。厳しい受注状況を反映している。

### 出島工業会協同組合

今月の売上は、前月比増加となったが、依然として先行きは不透明である。

(電気機器)

## ●電気機械器具

### 広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

先月同様、新型コロナウイルスの影響で、国内外ともに受注が減少しており、前月比5%減少、前年同月比18%減少となった。先行き不透明感が強い。今後の資金繰り悪化に対し、公的、民間金融に係る相談支援を期待している。

(輸送用機器)

## ●輸送用機械器具 (自動車)

### 東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客 (マツダ) の業況 (生産台数) に比例している。

・6月の国内自動車販売台数は全需が347千台、前年同月比22.9%減少と9ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比26.0%減少と9ヶ月連続の前年割れ、軽自動車も前年同月比で17.3%減少と9ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同23.8%減少と3ヶ月連続の前年割れ

・アメリカの5月の全需は1,117千台で前年同月比29.8%減少と3ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同1.0%減少と3ヶ月連続の前年割れ

・欧州の5月の全需は712千台で、前年同月比55.6%減少と5ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同60.3%減少と5ヶ月連続の前年割れ

・中国の5月の全需は2,136千台で、前年同月比11.6%増加。マツダ車も同31.6%増加と2ヶ月振りの前年超え

・上記各地域の状況下、マツダ車の5月の海外販売合計台数は78千台、前年同月比26.5%減少で5ヶ月連続の前年割れ

・マツダの5月の輸出動向については、輸出台数は前年比86.4%減少と8ヶ月連続の前年割れ

・マツダの5月の国内生産台数は、前年同月比83.6%減少と8ヶ月連続の前年割れ

## ●輸送用機械器具 (造船)

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

## ●輸送用機械器具 (造船)

### 中国地区造船協議会

2,500総トン以上の県内における令和2年5月の船舶建造許可実績は3隻191,800総トンであった。(前月4隻105,940総トン、前年同月6隻411,050総トン)

なお、この3隻は輸出船で貨物船2隻、油槽船1隻であった。

(その他)

●家具・装備品

府中家具工業協同組合

新型コロナウイルスの影響で売上、収益は減少し、景況感は悪化している。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

5月を底に売上が改善している企業も出てきている。資金繰り面では、銀行からの借入れが行われ、当面の資金繰りが好転している企業も出てきている。新型コロナウイルスの影響がどこまで出るのかわからず、先行きは不透明である。

「雑貨」においては、生活用品関連取り扱い事業者は改善、観光関連等は厳しい状況が続いている。

「資材」においては、販売先の設備投資抑制等から受注が前年比減少と落ち込んでいる。引き続き見通しは厳しい。

「食品」においては、スーパー向けの日配品、生鮮品は前年並み。土産品向けは引き続き厳しい。販売先による濃淡あり。

「繊維」においては、小規模な催事の開催や商談が再開されるなど改善の兆しあり。

各業界ともに改善の兆しはあるものの、前年同期と比べると厳しい状況にある。新たな借入で資金繰りを確保しており、年度後半に前年同期並みに改善出来ないと厳しい状況に再度陥る懸念はある。

協同組合福山卸センター

新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、前年比売上、収益、景況感ともに悪化している。

●卸売業(食料)

広島県東部食糧協同組合

新型コロナウイルスの影響はあるが、やや回復基調である。

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

コロナ禍の影響で、住宅関連商材の取扱は減少している。また、4月度の住宅、非住宅着工の減少から今後の見通しは厳しいことが予想される。

●卸売業(家具)

リビズ株式会社

今月の売上は、キャッシュレス・ポイント還元事業の駆け込み需要と給付金の影響により、前月比増加となった。7月第1週は前年並みに低下した。

●卸売業(畳・敷物)

広島県藁製品商業協同組合

びんご畳表の相場は、横ばいで推移、販売・取り扱いは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から本格的に訪問営業が出来ないことから受注は減少している。

一方、九州(熊本・福岡)での相場は弱含みで推移、6月末より刈り取り時期であり、天気と相談しながらの刈り取り体制に入っている。今年度、株張は良好のようである。

中国産畳表は、い草の刈り取りも早い場所では既に始まっている。草の進伸は順調で、期待出来る。畳表となるには、8月~9月頃であると見ている。備後地方のい草の刈り取りは7月上旬、九州は6月中旬から7月上旬の予定である。いずれも生育は順調である。

(小売業)

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

4月、5月の買い控えが6月へと後ろ倒しになり、売上が前年比増加となった店舗が3割程度あった。全体としては前年比8~9割まで客数は戻ってきている。

広島生鮮三品連絡協議会

今月の卸売市場水産部の6月の取扱高は前年比50%~60%まで回復、青果部は飲食関連の落ち込みを小売がカバーし、前年比増加となった。

非常事態宣言解除に伴い、飲食店の営業再開が進み、納入業者の売上も回復基調ではあるが、3密対策による制約があり以前の売上水準にはほど遠い状況である。

小売店も3密対策の意識が消費者に定着しつつあるため、来店客数が減少傾向にある店舗が多いようである。

接触を避ける新しい行動様式から、キャッシュレスが増えてきた。換金期間による滞留から資金繰りに影響が出ている。ポイント還元が終了する6月以降、キャッシュレス決済手数料の実質増加により収益悪化が懸念される。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比14.9%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比16.8%増加、冷蔵庫同11.2%減少、洗濯機同4.0%減少、IHクッキングヒーター同1.4%増加、電気温水器同5.5%減少、エアコン同13.0%減少となった。

薄型テレビは50型以上の大画面が好調だが、他のAV商品は軒並み前年比50%前後の状況である。白物商品は、新型コロナウイルスの影響で外出を控えていたため、一部調理家電は前年比増加となったが、冷蔵庫、洗濯機、エアコンは前年割れとなった。

#### ●その他の小売業（燃料）

##### 広島県石油商業組合

売上数量は、前年同月比10%減少と予想される。数量的には前月に比べ若干改善が見られる。

（商店街）

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 広島金座街商店街振興組合

緊急事態宣言解除後も売上は前年には遠く及ばない。

##### 呉本通商店街振興組合

政府の緊急事態宣言の解除がなされ、徐々に客足は戻ってきつつある。しかし、全体としてははまだ売上の増加や景気回復の実感はない。事業者に関しては、持続化給付金、休業補償や緊急支援融資などの新たな支援策が県・市から出されているものの、手続きに時間を要しているように感じる。

当地区では夏の土曜夜市や9月の花火大会が中止となり当組合ではそれに変わる夏のイベントを青年部が中心となって検討中である。

（サービス業）

#### ●自動車整備業

##### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比31.6%増加、前年比4.5%減少

車検場収入は、前月比31.3%増加、前年比5.2%減少

重量税・登録印紙の売上は、前月比6.2%増加、前年比4.3%減少

#### ●広告業

##### 広島県広告美術協同組合連合会

新型コロナ感染拡大の影響により売上は前月比減少となった。また、休業要請は解除されたものの、第2波、第3波に備え、受注案件や大型案件が中止や延期等となり、組合員に大きな影響が出ている。

若干稼働してきているが、今後も各種イベントの中止、広告宣伝の自粛など、まだまだ見通しが立たない状況である。

#### ●警備業

##### 広島県警備業協同組合

新型コロナウイルスの影響が今後も続くと思われる。

（建設業）

#### ●工事業

##### 神辺建設業協同組合

今月の売上は、前月比減少となった。人手不足、先行き不透明感は続いている。

##### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、6月度は前月比5.2%減少、前年同月比26.0%減少、累計前年比3.9%増加となった。例年2,3月は売上が増加し、4,5月はやや減少し、6月は少し持ち直す傾向にあるが、今年は4月から横ばい状態が続いている。

建築物件が少ない状況は昨年より予想されたが、さらに新型コロナウイルスの影響により店舗関係の内装工事の延期や着工見合わせなどを中心に業務を受注している事業者は、苦戦しはじめている。

##### 福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比4.4%増加、前年比3.8%減少となった。新型コロナウイルスの影響か否か来月以降も注視していく。

現状では未だ新型コロナウイルスの影響を受ける前に受注した工事があるが、今の状況が続くと9月頃の受注予定はない。秋口から厳しくなるのではないかとという声もある。

（運輸業）

#### ●道路貨物運送業

##### 松永地区トラック事業協同組合

6月の売上高は、輸送品目により違いはあるが、前月比、前年同月比ともに減少し、収益状況も最悪の状況となった。

緊急事態宣言は解除されたが、国内の移動車、機械、鉄鋼、化学等全ての業種においてコロナ前の水準には戻っていない。海外からの輸出・輸入についても貨物量が減少したままであり、国内で流通する貨物がないといっても過言ではない。緊急事態宣言中は軽油価格も下がっていたが、解除と同時に上がり始め、現在では緊急事態宣言前の価格に戻っており、収益をさらに悪化させる要因となっている。

#### 広島輸送ターミナル協同組合

緊急事態宣言解除後、物流量は徐々に増加し始めた。6月の自動車関連は50%程度の稼働率で、回復は9月以降になる予想である。完全復活を望んでいる。学校の再開とともに菓子関連輸送は4月、5月は減少している。

#### 中国カーゴ軽運送協同組合

今月は、先月に比べやや持ち直した感はあるが、飲食関連の受注は全くなかった。新規取引先の開拓はまだまだ出来ていない状況である。

#### ●水運業

##### 全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない

(その他)

#### ●不動産業

##### 広島県不動産評価システム協同組合

先月、固定資産標準宅地評価作業と路線価作業報酬の入金があり、当月はその分売上高、収益状況は悪化しているが、資金繰りは不変である。前年同月比資金繰りは好調で、その他は不変である。

6、7月は、広島県の地価調査基準地の評価作業、固定資産税標準宅地評価の時点修正作業等があり、一般鑑定における新型コロナウイルスの影響は依然不透明である。